

### ■ これまでに寄せられた意見（代表的なもの）

#### 下青井の地域性に関する意見

- 青井は**地元の人**が温かく、**住みやすいまち**
- 住みやすさと観光の線引き**が必要
- 文化や歴史が豊かで、生活利便性が高い青井地区に**暮らしの場として愛着がある**

#### まち並みに関する意見

- 賑やかさよりも**落ち着いたまちなみ**
- 青井阿蘇神社の延長で**和風なまちなみ**も良いし、180度異なる**モダンなまちなみ**も良い
- 統一感**のある色合い（原色系、派手な色合いを避ける）
- 道路の際まで建物が建つのではなく、少し引いた方が良い
- 緑化**に配慮（ルール検討に際しては住民負担のバランス考慮が必要）
- 建物の高さ**に配慮
- ご近所づきあいがしやすい環境**を望んでいる
- 人や車の通行のことを考えると、**敷地内に電柱を配置**することもできる範囲で協力可能
- ゴミの出し方について、**ルールづくり**が考えられる

#### 街路樹（国道445号）に関する意見

- 低木が連続するより**スポット的に植樹**した方が風通しが良い
- なるべく**葉っぱが散らからず常緑樹で花が咲く樹種**が良い
- 青井阿蘇神社前（桜）と**その他の区間で樹種を変えてもよい**のでは
- 若手が減少している中、住民だけで街路樹の維持管理は難しい（特にイチョウ等の落葉樹）
- 木陰は不要（公園にあれば良い）
- 水害発生時の障害物にならないことに留意してほしい

#### 道路施設（国道445号）に関する意見

- 歩行者に配慮した、**車道と歩道の区別**が分かるような舗装
- 透水性のある舗装
- 街灯**も必要
- 街路樹の代わりに、日よけのシェルターとベンチをおいてもよい
- 木陰・ベンチがあるとよいが、汚いと使いたくない

### ■ まち並みの方針（案）

## 落ち着いたまちなみのある暮らしを大切にしたいまちづくり

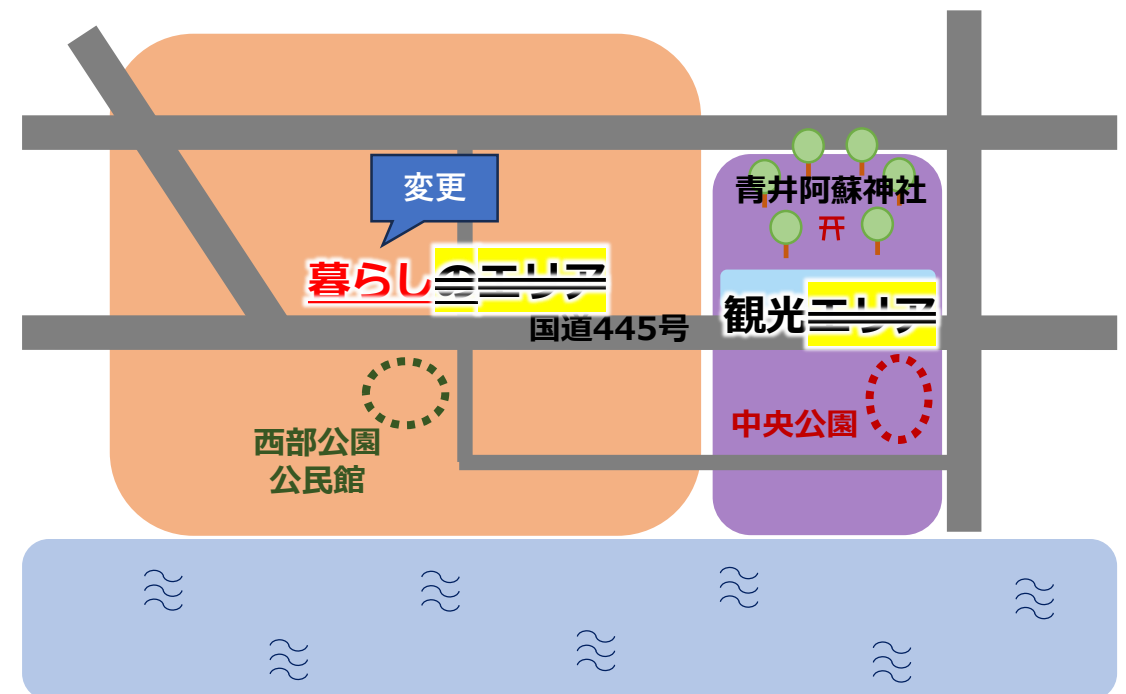
「居住」エリア→「暮らし」に変更

「観光」エリア→「観光」に変更

- 1 「暮らし」と青井阿蘇神社周辺の「観光」を緩やかに色分けした生活環境に配慮した国道445号の整備

エリアの棲み分け → 緩やかに色分け ※「生活環境に配慮」の文言を削除

- 2 落ち着いた雰囲気ですら暮らしやすいまち並みの形成



※青井阿蘇神社周辺の賑わい拠点に関する機能やデザイン等は地域住民の皆様や協議会等のご意見をいただきながら別途計画して参ります。

## 2 下青井町のまち並み形成（案）

### 機能やルール等の考え方

1 **変更** 「暮らし」と青井阿蘇神社周辺の「観光」を緩やかに色分けした生活環境に配慮した国道445号の整備

■ 青井阿蘇神社を訪れた観光客が暮らしの居住空間を認識でき、住んでいる方のプライバシーや生活環境を守れるよう構造等に配慮した道路空間とする

**削除** 国道445号の沿道にお店が展開しやすい道路空間とする **追記**

**削除** 「居住」エリアは、地域の方が日常的に使う道路として歩きやすく、生活に彩りを与える道路環境とする

**追記** 「居住」エリアの街路樹は、風通しに配慮したスポット的な配置とし、維持管理にも配慮した高木とならない樹種を植栽する

■ 歩行者や自転車走行者が安心して快適に利用できる道路空間とする。車道と歩道の区分を明確化し、安全で快適に歩行できる構造とする **変更**

■ 青井地区のシンボルロードとして防災面や景観面を考慮し、無電柱化（電線を埋設）を実施する **変更**

- 上記の効果**
- 青井阿蘇神社を訪れた観光客が、必要以上に「暮らし居住」の空間の中をエリアを散策するようなことが避けられ、住んでいる方が落ち着いて生活を送ることができる
  - 歩行での外出が促され、住民同士が顔を合わせる機会や健康づくりに繋がる
  - 緑があることで開放的な歩行空間となり、心地よく通行することができる
  - 大規模災害時、電柱倒壊による閉塞が解消し、緊急輸送道路としての機能や指定避難所までの円滑な避難ができる

### 今後の進め方

次年度、まち並み形成に関する制度や取組等についての勉強会を実施し、地域の皆様と一緒にまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

### 2 落ち着いた雰囲気です暮らしやすいまち並みの形成

■ 地域の皆さんの大切な場所（青井阿蘇神社やお地蔵様、自宅等）を守りながら、落ち着いた雰囲気です暮らしやすい居住環境等をつくるために、地域の方々による統一感のあるまち並み形成を図る

■ 生活での歩行やまちの景観に配慮した（例：建物のセットバック、宅地内の緑化、敷地内の電柱設置等）、温かみがある機能的な空間の形成を図る

■ より暮らしやすいまちにしていくために、暮らしの中での必要なルール（例：ゴミの出し方等）をつくる

- 上記の効果**
- 目立つ建物や看板等の設置が避けられ、落ち着いた統一されたまち並みとなり、心地良く暮らせ、まちの活性化に繋がる
  - 日頃から利用する生活道路を安全に歩行することができ、ブロック塀の緑化等による圧迫感の軽減を期待することができる
  - 地域の皆さんで、ゴミ出し等のまちのルールを決めることで、さらに下青井町に対する愛着や地域の団結を高めることが期待できる

